

# 鉄道 150 年記念鉄道切手展 Railpex2022

2022・10・13（木） — 10・14（金）



主催：日本郵趣協会 鉄道郵趣研究会

場所：切手の博物館 3F スペース1・2

## はじめに

JPS 鉄道郵趣研究会は 1985 年 9 月に「Railway stamps」の創刊号を発行し、鉄道切手部会としての活動を開始しました。

また、「鉄道の日」をはさんで、鉄道切手展 RAILPEX を隔年開催しています。

今年、新橋-横浜間に日本で最初の鉄道が開業して 150 年になります。記念切手も発行されました。この鉄道 150 年をメインテーマとして、関連する研究会員のコレクションを展示します。

さらに、このジャンル・テーマにこだわらず、その他さまざまな鉄道に関するコレクションも展示し、広く鉄道愛好家、切手愛好家に切手収集の醍醐味を紹介します。

多くの方に、これらを見ていただき、鉄道郵趣の楽しみを理解していただければ幸いです。

このRailpex参観を契機に、当鉄道郵趣研究会に入会して頂ければ、光栄です。

以下の解説の順は、展示の順路の順とは必ずしも一致しません。

### 期待の日本の鉄道 150 周年

#### 4 フレーム 井上 龍太郎

日本の鉄道は今年 150 周年を迎えます。英国の産業革命の中で誕生した鉄道の創業から、約 50 年近く遅れた鉄道後発国です。

その創業と鉄道記念日、鉄道の日制定など以後の経過を追い、日本の鉄道の発展経過を復習するとともに、既に鉄道 150 周年を超えた世界各国の、その 150 周年記念の郵趣マテリアルから素晴らしいものを精選してみました。

### 日本の鉄道創業 150 年の回想

#### 2 フレーム 樽井 秀美

新橋-横浜間に日本として最初に開業した鉄道の 150 年の歴史を振り返り、国内と戦前の海外領土を含め、ワンリーフ・ワンテーマとしてまとめた作品です。内容は郵趣品のみではなく、記念切符他を含みます。

## 世界の鉄道 150 年記念

### 4 フレーム 若園 泰三

Railpex2020 では「ヨーロッパの鉄道 150 年」を出品しました。今回は、世界の国の鉄道 150 年に、範囲を広げました。今後、さらに多くの国で鉄道 150 年を迎え、切手の発行も期待されますので、フォローしていきたい。

### 開業の周年記念小型印

#### 4 フレーム 横山 駿一

新橋～横浜間に鉄道が開業して、今年で 150 年を迎えます。各地で、100 年を超えた鉄道路線があります。

北海道では根室本線の釧路-白糠間が開通 120 年を迎えています。東京では、都営交通が 110 年を迎えています。ここでは、これらのマテリアルを展示します。

### 楠公葉書に押印の鉄道開通記念印

#### 1 フレーム 朝月 清次

日本の鉄道は明治 5 年 10 月 14 日に新橋-横浜間で開通し、今年で 150 年になります。その後、日本全国に新線が開通していきました。

昭和初期にも多くの新線が開通しました、新線開通時には開通記念印がしようされました、楠公葉書は昭和 5 年から昭和 22 年までと、長期に使用され、鉄道開通記念印も多く使用されました、その中で、楠公葉書に押印された鉄道開通記念印を纏めてみました。

### 鉄道開業 150 年(合作)

#### 1 フレーム 鉄道郵趣研究会

「鉄道開業」、「150 年記念」といったテーマで 1 人では 1 フレームをつくるのは至難です。

しかし、1 人では 1 フレームの出品が不可能でも、それぞれが 1 リーフでも、2 リーフ、3 リーフ・・・と出品すると、こうした合作で 1 フレームができあがります。ダブっているものもあるかもしれませんが。

出品予定者:樽井秀美、三浦正悦、横山駿一、吉田幸江、他

## 鉄道切手 2020・2021

### 4 フレーム 今井 博

鉄道に関連した切手、鉄道に関する諸々を描いた切手は世界中で発行されてきました。後者には意図的に鉄道を描いた切手もあれば、意図外に小さく鉄道関連モチーフの描かれた切手もあります。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行があり、一時は新切手の発行の減少が懸念されましたが、その後は従前に戻りつつあります。気軽に海外旅行をすることは難しいが、2020～2021年に発行された切手で世界を旅してみましょう。

### 荒井図鑑に示された国別での鉄道1号切手（その3）

#### 2 フレーム 和食 克維

元部会員の故片岡さんの鉄道切手アルバム【15冊】をロータスで昨年買い求め、その充実ぶりに先輩の鉄道切手に対する収集に対する熱意を感じました。

これらの中から鉄道切手の国別1号切手を展示しました。今回でこのシリーズは、3度目の展示であり、これでクラシック鉄道切手が完集に近いものとなりました。

### 2021年ふるさとフレーム切手（鉄道図案）

#### 2 フレーム 和食 克雄

2021年発行のふるさとフレーム切手は、オリンピック・パラリンピックメダリストとホストカントリーに関連するフレーム切手が多数発行された結果、合計612シートと今までで最多発行となりました。

その中で鉄道図案は、私のデータでは45シートと推定されます。その中から鉄道図案の内発行数が極端に少なく、買い求められなかったもの以外で、切手10枚全部が鉄道図案であるシートを展示します。

### 新鉄道切手カタログの企画

#### 1 フレーム 三浦 正悦

1995年に荒井誠一編の「最新世界鉄道切手総図鑑」が刊行され、鉄道郵趣のバイブルでした。この追補版は2004年に鉄道切手部会が刊行しました。追補版の追補版という位置ではなく、最初から最近

の切手までを纏めたカタログを編集すべく、作業中です。まだ発行年が確定していませんが、編集中の頁の一部を、ランダムに16ページ分、紹介します。

### 世界のラック式鉄道

#### 2 フレーム 原田 雅純

アプト式などのラック式鉄道は山に登る鉄道、あるいは山を越える鉄道として、ループ式鉄道、スイッチバック式鉄道とともに、旅する人々に親しまれてきました。1800年代前半にはじめて開通して以来、約150

の路線に存在しました。

現在でもスイスなど山岳観光地の路線で運行されています。これらラック式の鉄道が切手に描かれることも多く、それらを各国別にまとめてみました。

### いい日旅たち

#### 2 フレーム 吉田 幸江

「いい日旅立ち」は国鉄の旅行誘致キャンペーンのタイトルでした。キャンペーンソングの「いい日旅たち」も山口百恵さんの歌唱でヒットし、現在でも親しまれています。

そして私の愛唱歌シリーズの切手にもなりました。その切手、カバーなどで、かつての旅情を表現したいと思います。鉄道の旅はいいものです。駅弁の掛け紙も作品にそえました。

### Railway Stampsのカラー版の紹介

#### 1 フレーム 三浦 正悦

鉄道郵趣研究会の会報Railway Stampsはモノクロ印刷の紙版での発行です。編集はカラーで行い、カラー版を毎年作成頒布している「合本CD」には掲載していますが、Railpexを機に、最新号の16頁分を展示・紹介します。

### 東京駅

#### 2 フレーム 若園 泰三

日本の鉄道開業150年に因み、東京駅の開業当時に発行された絵ハガキと、東京駅が描かれた切手を纏めました。

## 世界の高速鉄道

### 2 フレーム 三浦 正悦

JAPEX2021 出品 6 フレームから最初の 2 フレームを展示します。

1964 年に新幹線が開通し、事業としても成功しました。各国はこの高速鉄道事業に注目し、各国で高速鉄道の開発と実用化が図られてきました。高速鉄道の定義を「時速 200 km 以上もしくはその程度」で運行する鉄道という国際的な定義を勘案して、各国の高速鉄道の状況を述べます。高速鉄道と判りやすい車両もありますが、意外な高速鉄道もあることにも着目して下さい。

### わたしの鉄道郵便印

#### 1 フレーム 永田 昭彦

鉄道が明治5年に開業して 150 年。同じくして鉄道による郵便物の輸送が開始されました。

鉄道郵便では鉄道郵便印が押印され、郵便物が乗った列車がわかります。消印を見ながら、その列車に思いを巡らせるのも楽しいものです。

そんなふうにして少しずつ集まってきた鉄道郵便印たちを紹介します。

### 鉄道模型: 鉄道郵便車

#### ショーケース展示 永田 昭彦

「わたしの鉄道郵便印 1 フレーム」展示にあわせて、近年、活躍した鉄道郵便車を N ゲージサイズの模型で展示します。客車、電車、気動車と揃えます。鉄道郵便車の模型も切手と一緒にご覧ください。

### 昭和の「鉄道紙グッズ・コレクション」

#### テーブル展示 石田 倫久

父のコレクションを引き継ぎ、私が 50 年間にわたって収集してきた鉄道紙コレクションを、紙くずにならないように自作本を制作し、記録に残すべく、作業を行っています。その自作本の一部を紹介します。

- ・乗車券関連: 硬券・軟券、記念切符、カード切符
- ・駅弁関連: 戦前・戦後の駅弁、戦後・平成の駅弁

- ・駅スタンプ関連: 戦前の駅スタンプ、テーマ別「スタンプ」
- ・その他: 鉄道関連のマッチペーパー、観光煙草、鉄道画面のある映画のスチール写真と解説

### 日本郵趣協会鉄道郵趣研究会への入会案内



鉄道切手に興味をお持ちの方でしたら、今すぐご入会ください。当会は鉄道切手の他に機関車、電車、旅行など鉄道大好き人間約 70 名の集りです。海外の会員も 2 名在籍しています。

常に対等にして、和気あいあい活動しています。「鉄道」というくくりでは、共通していますが、みなそれぞれ、気ままな収集をしています。

鉄道郵趣研究会では切手の販売は行っていません。会報を通じての情報交換と定例会の開催が主な活動になります。

会費(運営負担金)は年 3,000 円です。

#### \*主な活動状況

1. 会報「Railway Stamps」年 6 回発行
2. ミニペックス(切手展: Railpex)などの開催、JAPEX 等への出品の支援
3. 定例会の開催(毎月第 2 火曜日午後 4 時から切手の博物館 3F にて)
4. 特別例会の開催
5. JAPEXにおけるラウンジの開催 など

問合先: 鉄道郵趣研究会

連絡担当: 三浦 正悦

〒186-0012 東京都国立市泉 3-26-21